

# 平成28年度施政方針

平成28年度の予算が2月定例市議会で成立しました。後藤市長は、本年度の予算説明を通じ、市政運営の基本的な方針並びにその主要施策などについて所信の一端を述べ、市民の皆さんの市政に対する深いご理解とご協力をお願いしました。その趣旨は次のとおりです。



私にとりまして、本年は平成25年4月に就任して以来、市民の皆様方のご支援をいただき4年目を迎えることとなります。この1期の総仕上げとして、これまでの経験を活かし、今後とも、激動する時代の流れを的確に捉え、課題解決に取り組むとともに、市民の皆様が夢を持てるように、未来の世代に繋げる豊かなまちづくりを推進してまいりたいと考えております。

さて、本年1月4日の安倍総理大臣の年頭記者会見において、少子高齢化という長年の懸案に真正面から挑戦し、「戦後最大のGDP600兆円」「希望出生率1.8」「介護離職ゼロ」という大きな目標を掲げ、この3つの的に向かって新しい三本の矢を放ち、二億総活躍への挑戦を始めるとのご発言がありました。

国においては、これまでの取組により、賃上げ率は二年連続で前年を上回る伸び、有効求人倍率は23年ぶりの高水準となるなど日本経済はデフレ脱却までもう一息のところまで来ており、全体として緩やかな回復基調にあるものの、一部に弱さもみられるところであり、引き続き機動的な経済財政運営を行っていく方向性を示しています。同時に、少子高齢化という構造的な問題があります。この約30年間、出生率は大幅に低下しており、高齢化率は着実に上昇し、2008年をピークに人口減少に転じております。こうした少子高齢化の進行が、労働供給の減少のみならず、将来の経済規模の縮小を招き、経済の持続可能性を危うくするという認識が、将来に対する不安・悲観へとつながっていると考えられます。それらに取り組むために、若者も高齢者も、女性も男性も、障害をお持ちの方々も、みんなが活躍できる社会、いわゆる一億総活躍社会を目指し、一人ひとりの個性と多様性が尊重され、家庭で、地域で、職場で、それぞれの希望がかない、それぞれの能力を発揮でき、それぞれが生きがい

感じることができると社会を創り、一人ひとりの希望を阻む、あらゆる制約を取り除き、活躍できる環境を整備するとしております。本市においても、国と歩調を合わせながら、市民の皆様方の理解と参画をいただき、各事業を着実に実行してまいりたいと考えています。

ご案内のとおり、昨年は、豊前市が誕生し、市制施行60周年という大きな節目となり、5月に60周年記念式典、ジョージアリヨシ元ハワイ州知事ご夫妻をお迎えして、「おかげさまで」と題して記念講演をしていただきました。その答礼として、11月に文化交流訪問団をハワイに派遣し、神楽・和太鼓・ジャズオーケストラの共演により、文化活動で互いの心が通じ豊前市の持つ伝統文化の価値と育んだ文化の力の素晴らしさと誇りを体感できました。今後の活動にどのように活かしていくかが課題となります。

また、新しい風も吹き込んでいます。九州電力豊前発電所敷地には、世界最大の蓄電池施設が設置され、バイオマス発電所の建設計画も新聞報道されました。さらに、議会におきましても、「未来へつなぐ電源のまち宣言」多様化するエネルギーを活かした循環型社会づくり」について、ご議決をいただきました。まさしく本市は、電源供給を担うまちとして、発展するとともに、発電事業は、先人達の大きな志とその努力により、近代化推進の原動力として地域において重要な役割を果たしてきました。一方で、東日本大震災以降、電力供給は、多様な電源による効率的なエネルギーの活用が求められ、特に再生可能エネルギーの活用は、今まさに求められる重要な政策であり、未来の子ども達へつなぐ循環型社会づくりに必要不可欠な取組であります。今後は、動向を注視しながら、積極的に推進したいと考えています。

次に、本年度の主要な取組について、ご説明申し上げます。

本市には、様々な地域資源があり、それらを活用することにより、観光振興を推進します。

平成13年には、求菩提山が国の史跡指定、平成24年には、求菩提の伝統的な農村風景の希少価値が国から認められ、重要な文化的景観の選定を受けました。さらに、平成26年には、山林のもつ優れた癒しの力が森林セラピー基地と認証され、他にはまれな心身ともに健康増進につながる魅力的な地域でもあります。

## 観光・産業の振興

また、新しい風も吹き込んでいます。九州電力豊前発電所敷地には、世界最大の蓄電池施設が設置され、バイオマス発電所の建設計画も新聞報道されました。さらに、議会におきましても、「未来へつなぐ電源のまち宣言」多様化するエネルギーを活かした循環型社会づくり」について、ご議決をいただきました。まさしく本市は、電源供給を担うまちとして、発展するとともに、発電事業は、先人達の大きな志とその努力により、近代化推進の原動力として地域において重要な役割を果たしてきました。一方で、東日本大震災以降、電力供給は、多様な電源による効率的なエネルギーの活用が求められ、特に再生可能エネルギーの活用は、今まさに求められる重要な政策であり、未来の子ども達へつなぐ循環型社会づくりに必要不可欠な取組であります。今後は、動向を注視しながら、積極的に推進したいと考えています。





さらに、求菩提温泉「ト仙の郷」、道の駅「豊前おこしかけ」、水産振興施設「うみてらす豊前」と連携して本市の魅力を発信し、観光客（交流人口）の増加を目指します。そのためにも、商工会議所など民間の協力を得ながら、観光協会にその推進役を担っていただく予定です。

本年は、東九州自動車道豊前・椎田南間が開通しますが、本市にとっては、通過点にならないよう努力しなければなりません。この課題を克服するためには、道の駅は勿論ではありますが、水産振興施設「うみてらす豊前」のPRも重要であり、地域おこし協力隊を活用して、施設の運営企画・情報発信を行い、山海の幸を堪能しリフレッシュしてお帰りいただき、また豊前市を訪れたいというリピーターを増やしていきたいと考えています。

次に、商業振興について、県の補助事業を活用して、商店街の魅力発信・情報発信を行い、PR活動をきっかけに来店機会の創出につなげる商店街活性化事業をさくら祭りに併せて支援するとともに、プレミアム商品券の発行を行いながら、消費喚起を促し、地域経済の活性化を図ってまいります。

## 教育の振興

昨年は、東松島市に18名の中学生を派遣して、被災地体験学習を実施いたしました。生徒に、被災地の現状を体験してもらった。報告会では、「まだまだ復興は進んでいない」「学習を通して、人と人が団結協力しあうことは、大きな力や強さにつながることを改めて知ることができた」「今、自分たちに来ることは何か」等様々な意見が出ました。百聞は一見にしかずで、やはり自分の目で被災地を見て、耳で地域の方の話を聞いて、肌で雰囲気を感じて、大変貴重な体験ができたと非常に喜んでおります。引き続き、本年は、昨年応募していただきながら参加できなかった小学生を対象に、被災地体験学習事業を実施し、現地で実際に被災した方々の話や建物などを見ることにより、今後の生活に少しでも役に立てばと考えています。



環境整備につきましては、国の補助事業を活用して、八屋小学校・山田小学校・合巽小学校・八屋中学校において、体育館の天井等の改修工事を前倒しで行い、国が進める非構造部材の耐震対策と長寿命化を図り、防災対策を行ってまいります。

また、大村小学校区における学童につきましては、他の小学校で実施されている放課後児童クラブとは異なりますが、放課後・夏休みなどに、子ども達の健全育成・安全確保を目的に大村すこやか子ども塾事業を行います。ただし、継続的・安定的な運営を確保するため、保護者・地域の方々・民間事業所が協力連携して、事業内容を企画・実施していく独自の運営形態を予定しています。地域の方のご協力ご支援をよろしくお願いいたします。

次に、児童の読書ばなれに歯止めをかけるため、昨年より取り組んでおります読書リーダー養成講座を継続実施し、市立図書館と各学校の連携を深めてまいります。本年は新たに、家庭での読書「うちどく」を推進し、家庭における本を通じた家族のコミュニケーションを図ります。具体的には、読み聞かせボランティアと学校司書が担当教諭と協議し、選んだ本を持ち帰り、家族で同じ本を読む・本の話をするといった各家庭に応じた時間を過ごし、その本を次の家庭へとリレーしていきます。リレー方式による本と感想等の情報交換を行い、家庭での読書を活発化させることにより、読書習慣の定着と「豊前市子ども読書推進計画」において目指す家庭・学校・地域における読書環境の充実に取り組めます。さらに、青豊高校との連携についても、検討してまいります。

文化芸術につきましては、本年1月15日、豊前神楽が国の文化審議会において、重要

無形民俗文化財とするよう答申されました。地域の誇るべき宝が国に認められ、多くの方々に神楽を見ていただきたいと思えます。また、県指定無形民俗文化財である山田の感応楽について、地元から国指定への要望があり、重要な資料である由来書の所在も判明したため、経緯を踏まえて国に対し、国重要無形民俗文化財への指定に係る意見具申を行うため、国の補助事業を活用して学術的な調査を実施し、映像記録や調査報告書の取りまとめを行いたいと考えています。



## 医療・介護・福祉の分野でのきめ細かい行政サービス

市長就任以来、掲げてまいりました「生涯現役社会づくり」については、昨年、在宅歯科訪問事業を実施しましたが、本年は蓄



積されたものを疾病予防・健康増進につなげ、市民全体に広げたいと考えています。

さらに、調理等が困難なため、食事を適切にとりにくい高齢者や障害をお持ちの方々に対して、夕食の配食サービスを行うことで、食生活の改善及び健康増進を図っておりますが、本年は、十分な支援が受けられないことで、栄養面での健康保持が困難となる方に、配食サービスによる栄養改善の状態を、管理栄養士等の専門職員が必要に応じて、個別に確認・評価し、一人ひとりに応じた栄養指導・改善を行ってまいります。また、栄養改善と深く関係する口腔機能についても、状態の確認や適切な口腔ケアが出来るように指導を行い、関係機関と連携します。事業において、収集した情報は、今後の健康づくりに活用するため、在宅歯科訪問システムへ蓄積を行ってまいります。

また、本年よりがん検診の受診料の見直しを行い、受診者の負担軽減を図るとともに、健康づくりカレンダーの充実など受診率の向上を目指し、早期発見・早期治療による重症化予防に努めます。そして、インフルエンザワクチン予防接種費用の助成を中学3年生まで拡充して、感染症予防と子育て世代の支援に努めます。

次に、本年から2カ年の期間において、高齢者保健福祉計画を策定いたしますので、各計画との整合性をとりながら、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるよう福祉施策の推進を図ってまいります。

さらに、ひとり親家庭等医療証と重度障害者医療証が、本年2月診療分から中津市でも一部使用可能となりました。これまで、福岡県外の受診時には患者負担金を支払い、市役所に申請のうえ後日払い戻しを受けていたいただいておりましたが、その手続きが省略されます。関係機関のご尽力を賜り心より感謝申し上げます。今後引き続き協議を重ね、市民の方の利便性の向上を図ってまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

そして、昨年より、小学生から中学生までの医療費助成の拡充を実施いたしました。本年も継続して、安心して子育てできる環境整備を行ってまいります。

## 人口減少に 歯止めをかける対策

首都圏をはじめとする地域からの移住希望者に対し、働きながら一定期間本市で居住することにより、就業・就農体験等とおして豊前市の魅力や住みやすさ等を体験していただき、将来的には、本市への移住・定住の促進を図り

ます。また、活動状況と併せて移住希望者への情報提供として、市外の方から見た、感じた豊前市について、広く県外に情報発信を行っていただくことで全国各地から多くの定住者を呼び込み、移住者と結びつけるトライアルワーキングステイ事業に取り組んでまいります。

また、地域では空き家が増加傾向にあり、空き家バンク制度の運用でその活用を図っておりますが、その中には古民家もあり、外国人の方を対象としたロングステイのまちづくりを推進する上で、古民家の利活用についても検討してまいります。

安全・安心なまちづくりについては、本年も、防災講演会を予定しております。昨年は、東松島市より元市民生活部長の太友氏を講師としてお招きし、東日本大震災の対応と復興のまちづくりについて講演をいただきました。災害に対する危機管理として、防災知識の普及・自主防災組織の育成強化等の重要性が示され、本市においても、防災に関する講演会や地震や津波を想定した防災訓練を継続実施することにより、市民の方々の防災意識を高め、いつ襲ってくるかもしれない災害に対応しうる備えを充実し、市民の生命を守るための災害対策の強化を図ってまいります。



次に、本年4月より予定しております組織機構の改定につきましては、まちづくり課を商工課、観光物産課に分割し、都市整備係と建設課の住宅建築係を統合し、都市住宅課を新設して、東九州自動車道の開通やまち・ひと・しごと創生総合戦略に沿って、産業・雇用の創出、交流人口の拡大等推進体制の強化を図ってまいります。また、総務課の人権啓発係と男女共同参画関連事業を統合し、人権男女共同参画室とすることにより、国の一億総活躍社会を実現するための推進体制を構築します。

環境につきましては、パリ協定に基づくCO2削減対策として、市民の皆様にごみの減量化・細分化にご協力していただき、リサイクルやリユースを推進することにより、経費削減に結び付け、循環型社会の構築を目指して、取り組みたいと考えています。

市バス事業におきましては、平成27年度にデマンド交通の試験運行を予定しておりますので、試行期間の状況等を検証しながら、今後の本市の新たな公共交通サービスの検討を行い、利便性の向上と乗降客の増加につなげてまいります。

以上、市政運営に関する私の所信並びに主要施策の概要について申し上げますが、本年は、節目を迎えた新しい豊前市の第1歩目の年であり、本市が元気で輝き、また市勢がさらに好転し、活力あるまちになるため、豊前市の将来をしっかりと見据えながら、取り組んでまいりますので、議員並びに市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。